

2010年のふくしま

福島県の未来を考えてみよう～福島県新長期総合計画「うつくしま21」～



うつくしま、ふくしま。
福島県

Q

長期総合計画って何？

福田 この間インターネットでホームページをいろいろ見ていると、福島県では新しい長期総合計画をついたそうだよ。

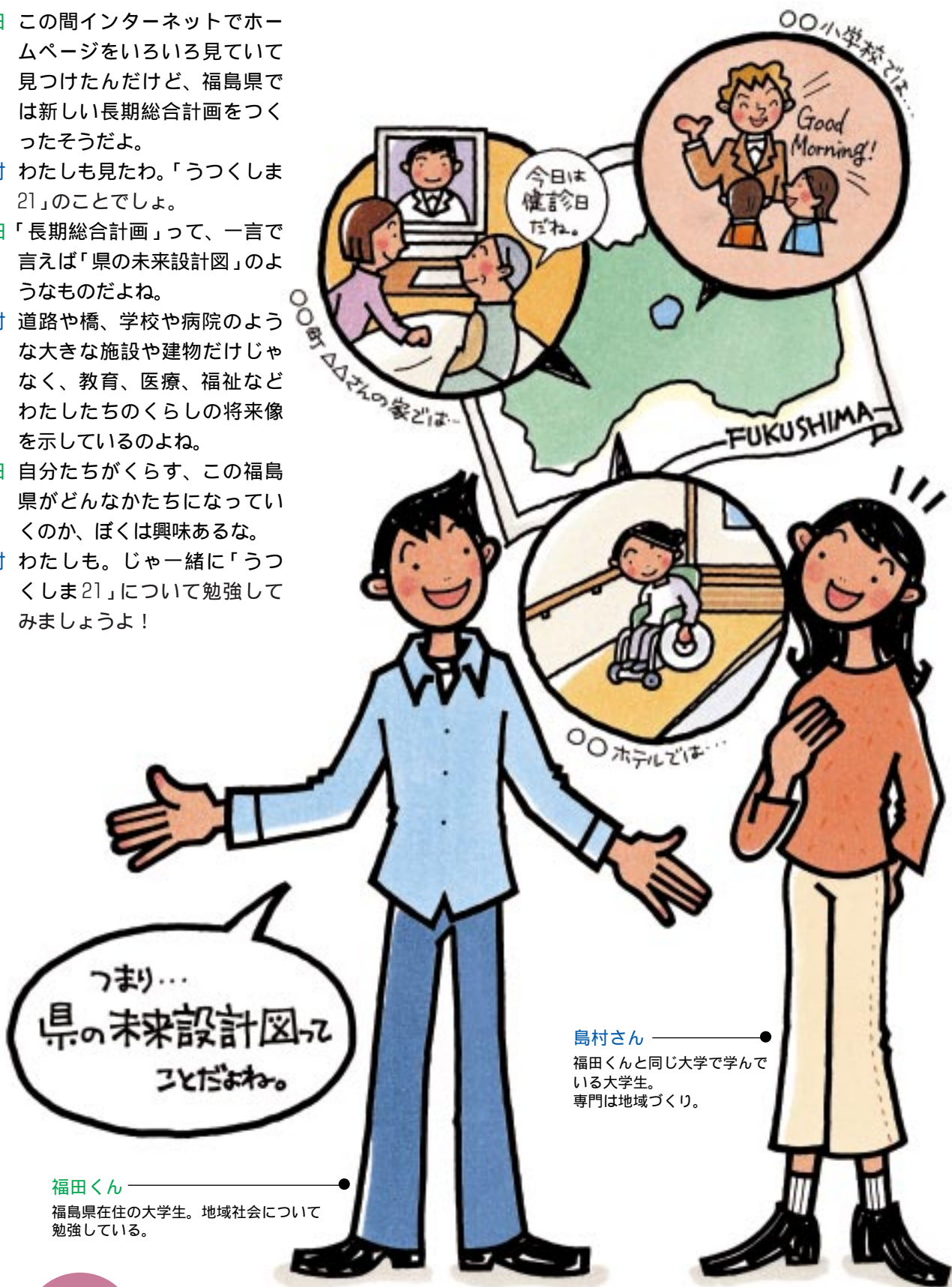
島村 わたしも見たわ。「うつくしま21」のことだよ。

福田 「長期総合計画」って、一言で言えば「県の未来設計図」のようなものだよ。

島村 道路や橋、学校や病院のような大きな施設や建物だけでなく、教育、医療、福祉などわたしたちの暮らしの将来像を示しているのよね。

福田 自分たちがくらす、この福島県がどんなかたちになっていくのか、ぼくは興味あるな。

島村 わたしも。じゃ一緒に「うつくしま21」について勉強してみようよ！



福田くん 福島県在住の大学生。地域社会について勉強している。

島村さん 福田くんと同じ大学で学んでいる大学生。専門は地域づくり。

解説

長期総合計画とは、県の進むべき方向を指し示す県行政における最上位計画です。県づくりの基本的考え方やその目標イメージを示し、各政策分野における取り組みを総合的・体系的に記載するなど、県政運営の基本指針としての役割を担うところに最大の特徴があります。

Q 「うつくしま21」ってどんな計画？

福田 これまでも県ではだいたい10年ごとに長期総合計画をつかって、それに基づいて県づくりを進めてきたんだよね。

島村 「うつくしま21」は平成13年(2001年)度から平成22年(2010年)度を計画期間としているのよ。

福田 計画の特徴としては、2010年のぼくたちの暮らしを分かりやすく指標(数値目標)を使って表現していることなどがあげられるね。

島村 多くの県民の声を聞きながらこの計画をつくったということも忘れてはいけないわ。

福田 そうだね。「県づくり」って役所だけでできないから、企業やぼくたちも一緒になってより良く住みやすい地域を自分たちの手でつくっていく必要があるよね。

島村 つまりは...「将来の目標」に向かって「役所も企業もわたしたちも一緒にがんばる」ってことかしら。

福田 ごみを減らす努力をしたり、電気などのエネルギーや水を大切にしたり、身近にできることは多いよ。

島村 ふくしまならではの伝統行事やボランティアなど地域の行事に積極的に関わっていくことも大切だわ。

福田 まだまだたくさんあるよね。ぼくらが自分たちの住む地域のためにできることって。



解説

県づくりは、県民の方々や市町村などと県と一緒に進めるものです。そのため、この計画の策定に当たっては、これまで以上にその積極的な参画に配慮しました。特に、今回、初めて創設した**県民アドバイザー制度**は、公募による127名の県民の方々に策定の全期間にわたって継続的に意見をいただくもので、全国的にも珍しい試みであったと考えています。また、策定期間中に県民の意識調査(アンケート調査)を行ったほか、インターネットなどを通じて検討過程の資料をすべて公表し、寄せられた意見や提言を積極的に計画に反映させています。さらに、指標(数値目標)や平易な表現を採用するなど、読み手の分かりやすさにも配慮しています。

Q 県づくりの目標は？

福田 ぼくたちの福島県が目指す姿を一言であらわすと「地球時代にはばたくネットワーク社会～ともにつくる美しいふくしま～」ということなんだね。

島村 県や市町村や企業、そしてわたしたち一人ひとりが、世界に向かってその個性や能力を十分に発揮し輝いている姿、そんな社会を思い描いているの。

福田 そう。そして、そういう社会をみんなの手でつくっていく。

島村 でも、みんなと一緒に何かをする時には共通の考え方を持つ必要があるわ。そうでないと勝手バラバラに行動しちゃうでしょう。

福田 そうか、そこで登場するのが「県づくりの理念」というわけか。

島村 「一人ひとりが大切にされ、いきいきと生活できる社会の形成」と「持続的発展が可能な地域社会の形成」という二つをよりどころにして、地域づくり、県づくりを進めていくの。

福田 一つ目は、分かりやすいけど、二つ目の方は..

島村 「社会の発展に欠かすことのできない貴重な自然や資源を大切に、自分たちの子どもや孫の世代に受け継いでいこう」、「地域の個性、歴史や伝統文化を大切にした地域づくりをしよう」という二つの中身が入っているのよ。



解説

本県が目指す「ふくしま」の将来像は、「地球時代にはばたくネットワーク社会～ともにつくる美しいふくしま～」という計画の基本目標に表現されています。「ふくしま」で活動するさまざまな主体が、水平的な広がり(対等な関係)の中で、相互に結びつきを深めながら、その可能性を十分に発揮し、世界に向かって躍動することのできる社会をイメージし、そのような社会を県民の方々などとともに築いていこうとするものです。また、今回の計画では、「一人ひとりが大切にされ、いきいきと生活できる社会の形成」と「持続的発展が可能な地域社会の形成」の2つを県づくりの理念として掲げています。これは、県民の方々を含む県全体として地域づくりを進めていくための共通理解となるものです。

Q

2010年の福島県はどんな姿？

島村 2010年か...ごく近い将来のような気もするし、まだまだ先のこと、という感じもするわね。

福田 人口はどうなっているんだろう。

島村 1995年(平成7年)の福島県の人口は213万4千人でお年寄り(65歳以上)の占める割合は14%くらいだったのが、2010年(平成22年)には、それぞれ209万~214万人、22%くらいになる見込みなの。

福田 人口に幅があるのはどうして？

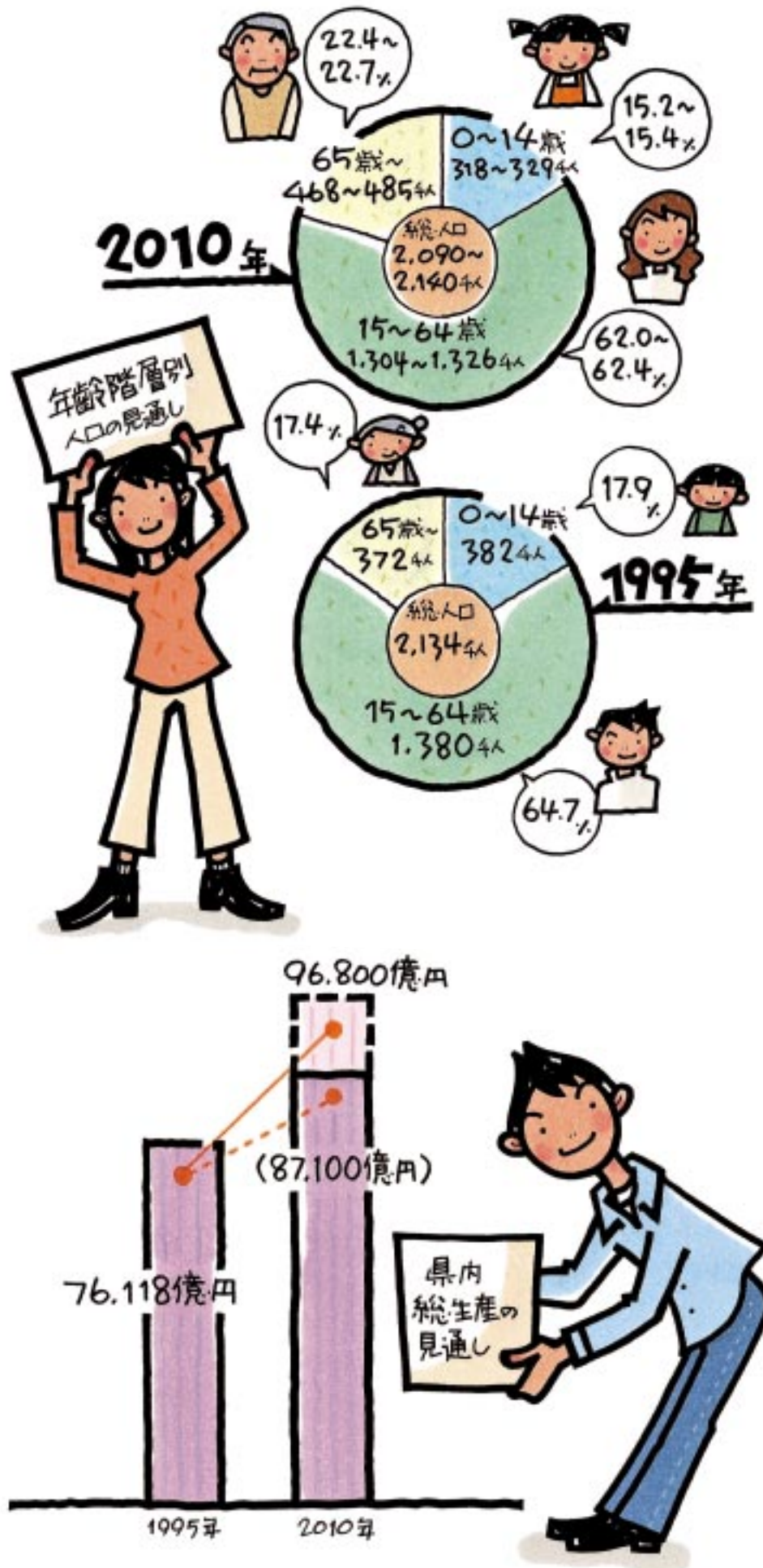
島村 人口が横ばいか少しずつ減っていく今の状態が続けば209万人くらいまで減ってしまうところを、県外に出ていく人を減らしたり、都会から人が移り住むようなさまざまな取り組みを行うことで214万人くらいの人口になるだろうという意味で幅を持たせてあるの。

福田 お年寄りの割合が高くなっていくんだね。

島村 福島県だけでなく全国的にも、お年寄りの割合が高くなり子どもの割合が低くなりつつあって「少子高齢化」と言われているのよ。

福田 経済はどうか？

島村 グラフのとおり、2010年には県の総生産(1年間に県内で新たに作りだされた生産物の合計額)が、1995年には約7兆6千億円だったのが、約8兆7千億~9兆7千億円程度になると見込まれているのよ。



21世紀の「ふくしま」のイメージ

島村 わたしたちの生活にはたくさんの場面があるわ。

福田 そうだね。子どもから大人まで、いや赤ちゃんの時からお年寄りになるまで、いろんな人々がいろんな場面で日々のくらしを送っているんだよね。

島村 県が行っている仕事も、教育、医療や福祉、防犯・防災、農林水産業や商業などの振興、環境の保護や保全、道路や公共の施設づくり...多くの場面に関係するたくさんの分野にまたがっているわ。

福田 県の長期総合計画「うつくしま21」ではさまざまな切り口で21世紀の県のイメージを示したり、分かりやすい数字の目標をつかって2010年のぼくたち県民社会の姿を表しているんだ。

島村 数値目標かぁ...確かに「これが県の未来像だ！」なんて単に言葉だけで言われてもはっきりと頭に思い描くことなんてできないから、とってもいいことだと思う。

福田 じゃぼくたちも「人」「くらし」「産業」「環境」「基盤」に分けて示された将来の姿を見ながら自分たちの住むこの福島県がどんなふうに変わっていくのか、考えてみようよ。

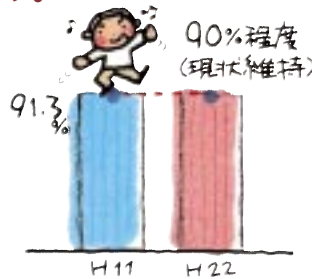


21世紀の「ふくしま」は、多様で主体性を持った個性が躍動し、その能力を十分に発揮できる「ふくしま」です。



そこでは・・・

一人ひとりが大切にされています。
男女の性別や年齢などにとらわれず、誰もが自分らしく生きることができるようになっています。
人々が、多様な生きかたをお互いに認め合っています。
誰もが、個人の可能性を最大限に発揮することができるようになっています。
誰もが、自らの生きかたを、自らの選択と責任において決めることができるようになっています。

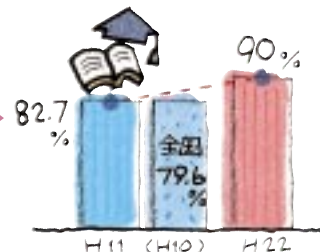


健康で元気な高齢者の割合

多くの高齢者が生きがいを持って社会のさまざまな分野で活躍しています。

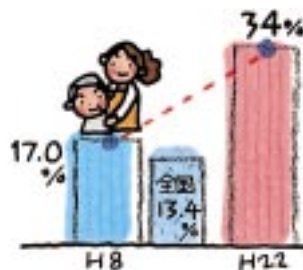
大学等進学希望者の進学率

高校生などの学力が向上し、大学等への進学希望がより多くなえられています。



青少年のボランティア活動体験率

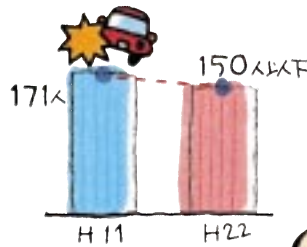
青少年が地域と積極的に関わりを持ちながら健全に成長しています。



これらの指標は一例です。

く50

21世紀の「ふくしま」は、くらしの豊かさをより積極的に味わうことのできるゆとりある「ふくしま」です。

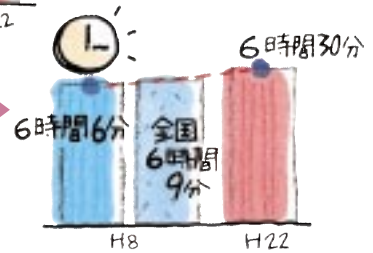


交通事故死亡者数

道路環境の整備や県民一人ひとりの交通安全意識の高まりにより、交通事故による死亡者が減少しています。

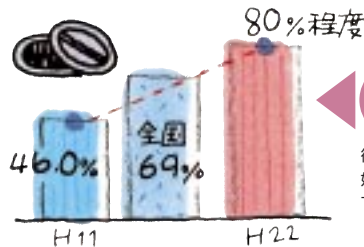
余暇時間 (1人1日 当たり)

労働時間の短縮などによって余暇時間が増え、文化活動やスポーツなどが盛んになっています。



そこでは・・・

確かな安全・安心を実感することができます。
ゆとりのあるくらしを送ることができます。
快適で健やかな生活が実現できます。
子どもを安心して生み育てることができます。
都市的なサービスとゆとりある空間、豊かな自然の恵みを併せて受けることができます。



下水道等普及率

衛生的な生活環境を確保し、また、良好な水質を保全するための基盤である下水道等の整備が進んでいます。

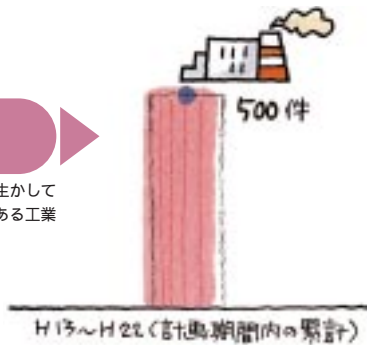
これらの指標は一例です。

産業

21世紀の「ふくしま」は、新しい時代にふさわしい創造的で活力ある産業が展開する「ふくしま」です。

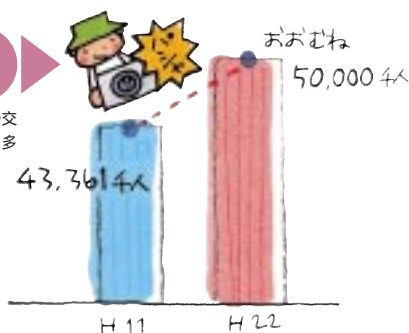
工場立地件数

本県の優れた工場立地環境を生かして多くの工場が新設され、活力ある工業生産が行われています。



観光客入込数

滞在・周遊型リゾート地域の形成や交流・体験型観光の推進により、より多くの観光客が本県を訪れています。



そこでは・・・

環境やエネルギー資源を大切に、人や自然にやさしい産業活動が積極的に行われています。
優れた技術を持つ企業や新しい分野の研究開発を積極的に行う企業が増えています。
美しい自然や豊かな産物を生かした活力ある産業が展開しています。

産業とは大きく次の3つの分野に分けられます

第1次産業 - 農業、林業、漁業

第2次産業 - 鉱業、工業(製造業、建設業)

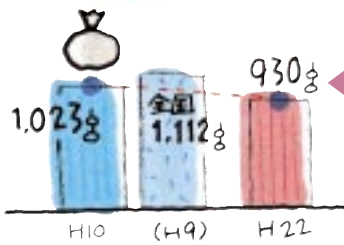
第3次産業 - 金融・保険業、商業、不動産業、運輸・通信業、サービス業など

これらの指標は一例です。

21世紀の「ふくしま」のイメージ

環境

21世紀の「ふくしま」は、自然と共生する地球にやさしい「ふくしま」です。



ごみ排出量
(1人1日 当たり)

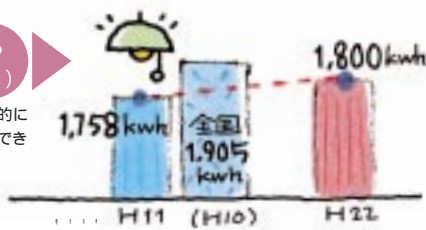
一人ひとりの努力によってごみを出す量が抑えられ、環境にやさしい県民のくらしが営まれています。

そこでは・・・

環境へあまり負担をかけない自然にやさしい社会がつけられています。
豊かな自然環境が守られ、自然と人とのふれあいが進んでいます。
美しい景観や風景が守られるとともに新たに作られています。
いろいろな人や企業、ボランティアなどが一緒に協力あって、豊かで美しい自然環境を守ろうと活動しています。
それぞれの地域で、地球規模での環境問題に取り組んでいます。

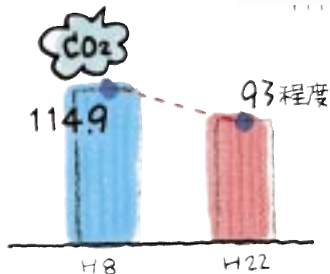
一般家庭等における
年間電力使用量(1人当たり)

一人ひとりが省エネルギーに積極的に取り組み、電力使用量の伸び率をできるだけ抑えています。



二酸化炭素排出量(指数)

県内において地球温暖化防止に向けた取り組みが積極的に進められています。
(基準年 = 平成2年を100とした指数)



これらの指標は一例です。

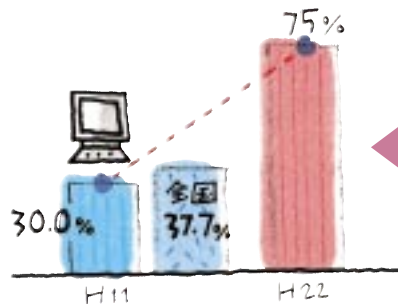


基盤

「人」「くらし」「産業」「環境」それぞれにおける県民のくらしや企業の活動などを支える基盤づくりが進んでいます。

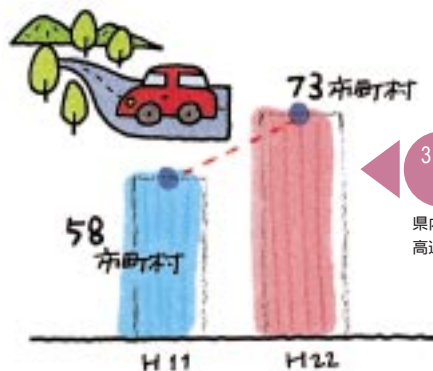


より多くの人々がコンピュータやインターネットを活用するなど、情報の受発信を行っています。
空港、鉄道、道路など人々の移動や交流に欠かせない交通網の整備が進んでいます。
水やエネルギーを安全に安定してつかわることができます。



一般家庭への
コンピュータ普及率

一般家庭においてインターネットなどによる情報通信サービスの利用が普及しています。



30分以内にインターチェンジに
アクセスできる市町村数

県内外との交流ネットワークを支える高速交通体系の整備が進んでいます。

これらの指標は一例です。

Q

県はどんなことをするの？

島村 10年後のわたしたちの生活の姿はだいたい理解できたわ。これを「目標」にして県もいろいろな事をしていくのね。

福田 県がこうした目標を実現するために行われる活動は「施策」や「事業」などと言われるんだ。

島村 「ゴミを減らすために会社や家庭に働きかけてリサイクルを進めよう」、「大雨が降っても洪水が起きないように川に堤防をつくらう」、なんていうのはまさに県の「施策」ね。

福田 「うつくしま21」には、こうした「施策」が1000以上も書かれているんだ。さらに…

島村 さらに？

福田 さっき「県づくりの理念」の話の中で、県づくりは「一人ひとりが大切にされ、いきいきと生活できる社会」、「持続的発展が可能な地域社会」をつくっていくことを共通のよりどころにする、ということだったけど、そのために特に県が力を入れておこなっていく施策があるんだ。

島村 「重点施策体系」のことね。

福田 「人間の尊重」、「ゆとりの重視」、「自然との共生」などの新しい価値観(物事の考え方・とらえ方)を取り入れて、社会のしくみを21世紀にふさわしいものに変えていこうとしているんだ。

島村 県もがんばるんだね。わたしたちも、自分たちができることから始めなきゃ。



解説

県では、新しい世紀にふさわしい県づくりに向け、「人」「暮らし」「産業」「環境」「基盤」という5つの柱に沿って、さまざまな分野の施策を総合的に展開しています。また、県づくりの理念を踏まえ、新しい世紀にふさわしい価値観(「人間の尊重」や「ゆとりの重視」、「自然との共生」など)を基調とする社会の実現に向け、新たに「重点施策体系」を構築し、積極的に取り組んでいます。この重点施策体系は、男女共同参画社会の形成やゆとり創造社会の形成、多極交流圏の形成など7つの柱から構成されており、また、施策の達成度を測る61の指標(数値目標)が設定されています。

Q 七つの生活圏づくり

福田 「一極集中」って言葉知ってる？

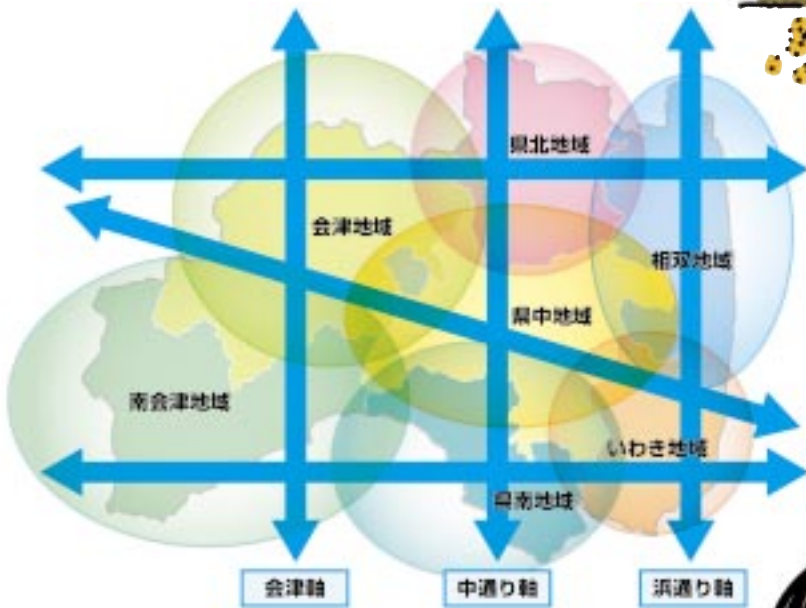
島村 一箇所に人もモノも情報もすべて集まってしまうことね。日本という国全体を見渡した時には「東京への一極集中」という表現がつかわれることもあるわ。

福田 福島県が目指している県のかたちは、それとは反対で「多極分散」型って言うんだ。

島村 10～30万人ぐらいの都市を中心に、人々が日常的に仕事をしたり、買い物をしたりする広がりをも「生活圏」としてとらえ、それぞれの地域の長を生かそうとする。

福田 気候も風土も違う7つの生活圏を、その個性を大切にしながら同時に発展させていくということは、そこに住んでいる人々を大事にするということにつながるんだろうね。

島村 そして、「うつくしま21」では、生活圏ごとに地域づくりの目標となる将来像を掲げて、みんなで地域づくりを進めていくことにしているのよ。



北部軸



横断道軸

南部軸

それぞれ
特色が
あるわね。

ふくしまには
7つの生活圏が
あるんだ。



解説

これまで諸機能の集積が図られてきた南北方向の縦軸と今後多様な交流を担っていく横軸との結節点を、引き続き本県の地域づくりの基本となる七つの生活圏としてとらえ、それぞれの生活圏において、都市と農山村の機能分担と連携によって、教育、文化、医療、商業等の生活機能を整備するとともに、各生活圏の連携を強め、この計画の基本目標に即して、「調和のとれた七つの生活圏づくり」を進めます。この七つの生活圏は、地理的な条件や歴史的・文化的関連の強い、一定のまとまりを持った地域であり、県民の日常生活の活動範囲におおむね対応する地域となっています。

地域別構想



県北地域

地域の将来像

自然の恵みと
都市の魅力が調和した
学術研究文化交流圏



吾妻連峰(種まき免遠景)

吾妻・安達太良山系や阿武隈の山並み、果樹王国ふくしまに代表される豊かな自然の恵みを楽しみながら、教育・文化・行政の高次都市機能の集積や県内有数の工業集積を生かした質の高い知的創造活動が展開される学術研究文化交流圏の形成をめざします。

県中地域

地域の将来像

恵まれた自然と
多様な都市機能が
調和した産業国際交流圏



福島空港

猪苗代湖から阿武隈高地に至る豊かな自然と調和した都市機能・生活機能の整備充実を図り、新しい産業や文化を創出するとともに、整備の進む高速交通体系を生かした多様な連携・交流を通じ、国内外とのネットワーク形成を図る先導的地域をめざします。

県南地域

地域の将来像

きらめく自然と
うるおいのあるくらしが
調和した源流交流圏



江竜田の滝

高速交通体系によって首都圏と短時間で結ばれているという恵まれた条件を生かして、広域的な交流を一層促進し、美しい水面に象徴されるきらめく源流域の自然環境と産業・経済が調和した、心の豊かさとうるおいに満ちた生活圏の形成をめざします。

会津地域

地域の将来像

美しい自然と
高度先端技術が調和した
質の高い歴史文化交流圏



裏磐梯

磐梯山、猪苗代湖に代表される美しい自然の中で産学連携による高度先端技術の集積が進み、歴史や伝統文化を大切にするとともに美しいまちが、さまざまな人々の交流を彩る質の高い歴史文化交流圏の形成をめざします。

南会津地域

地域の将来像

豊かな自然と
人々のくらしが調和した
いやしの定住・交流圏



尾瀬

尾瀬をはじめとする豊かな自然の中で培われてきた、ふるさとへの愛着と誇りに満ちた人々のうるおいと活力あるくらしや風土色豊かな伝統文化、素朴な農村のたたずまいが醸し出すふるさとの原風景が、ゆとりと安らぎを求める多様な交流を生み出し、そこから新たな定住への扉が開かれるいやしの定住・交流圏の形成をめざします。

相双地域

地域の将来像

輝く自然と特色ある
産業が調和した
ゆとりのある快適交流圏



請戸漁港の出初式

高まる交流機能と魅力ある地域資源を生かし、地域内外との緊密な連携と多面的な交流を図りながら、太平洋から阿武隈高地にいたる輝く自然との共生の中で、ゆとりのあるくらしと特色ある産業が調和した快適交流圏の形成をめざします。

いわき地域

地域の将来像

多彩な自然と快適なくらし、
活力ある産業が調和した
海洋文化交流圏



塩屋崎灯台といわきの海

整備が進む高速交通体系や小名浜港、ふくしま海洋科学館(アクアマリンふくしま)などの特色ある拠点施設等を生かした地域内外の連携と交流を深めるとともに、東日本沿岸部における中核都市圏にふさわしい高次な都市機能の集積を図りながら、森、川、海が創り出す多彩で豊かな自然の中で、ゆとりとうるおいのある快適なくらし、活力ある産業が調和した海洋文化交流圏の形成をめざします。

● 皆様のご意見をお待ちしています。

福島県新長期総合計画「うつくしま21」に描かれた「福島県の未来」やその実現に向けた県の取り組みを紹介し、

「どんな社会になってほしいのか？」

「そのために県は何をしていったらいいのか？」

「自分に何かできることはないだろうか？」...など

自分たちがくらす地域について考えるきっかけになればと思い、この冊子をつくりました。

県では、多くの人々からさまざまなご意見をいただきながら、美しく住みよい福島県をきずいていきたいと考えています。

県づくり、地域づくりに関する皆様のご意見をお寄せください。